

第 28 回

パチンコ景気動向指数 (DI)

調査結果

■ DI (Diffusion Index) とは？

パチンコ業界における景気動向を把握するため、平成 12 年 6 月より四半期 (3、6、9、12 月) ごとに実施している調査。

■ 今回の調査について

1. 調査対象： A c l u b 会員 (エンタテインメントビジネス総合研究所の会員制情報提供サービス会員) ほか、全国の有力パチンコ店経営企業
2. 実施時期： 2007 年 3 月 15 日～2007 年 3 月 26 日
3. 調査方法： F A X にて送付・回答
4. 回収状況： 発送 781 社、有効回収数 54 社、回答率 6.9%

2007 年 3 月



調査結果のポイント

■ 全般的概況はマイナス 6.2 に回復も、先行きに不安

現況(平成 19 年3月)の各社の業況判断DI値は、マイナス 6.2 と前回調査時のマイナス 30.8 から、24.6 ポイントの大幅改善となった。

見通し(3ヶ月後)については、マイナス 16.9 と先行きへの不安を尚残している。

<中規模事業者で現況改善、見通しは各中小模でともにマイナス2桁>

規模事業者でDI値 12.5 と前回から 12.5 ポイントの改善。中規模事業者でDI値マイナス 8.3 と前回から 45.0 ポイントの改善。小規模事業者はDI値マイナス 29.4 と前回から 2.7 ポイントの悪化となっている。

見通し(3ヶ月後)では、大規模事業者(4.2)、中規模事業者(マイナス 25.0)、小規模事業者(マイナス 35.3)と、各規模事業者ともに現況より悪い数値となっている。

■ パチンコ現況は大幅改善、改善幅高い大中規模事業者

パチンコの稼動状況のDI値は、前回のマイナス 30.8 から 15.4 と 46.2 ポイントの大幅改善となった。見通し(3ヶ月後)では、10.8 となっており、先行きへの不透明感を残している。

前 12 月期と比べると、小規模事業者は 20.8 ポイントの上昇、中規模事業者は 59.2 ポイント、大規模事業者は 44.4 ポイントの大幅上昇となっている。

先行き見通しについては、各規模事業者ともに、ほぼ横ばいとなっている。

■ パチスロ現況はやや回復も、見通しには厳しさ

パチスロの稼動状況のDI値は、前回のマイナス 30.8 からマイナス 23.4 と 7.4 ポイント上げたもののマイナス2桁圏での推移となっている。見通し(3ヶ月後)は、マイナス 41.0 と暗さを残している。

前 12 月期と比べると、小規模事業者は 11.7 ポイントの悪化、中規模事業者は 20.0 ポイントの改善、大規模事業者は 9.7 ポイントの改善と、小規模事業者での悪化が目立っている。

先行き見通しについては、各規模事業者ともに悪化を予測。大、中規模事業者では改善するとの回答がゼロと、先行きへの厳しさを残している。

■ 採用実績高い『新卒』と『アルバイトからの採用』

平成 19 年度の正社員採用にあたって、採用活用をした対象は「新卒採用」(51.9%)、「アルバイトからの採用」(44.4%)、「中途採用(業界非経験者)」(38.9%)の順となっている。

そのうち、実際の採用に結びついたのは「新卒採用」と「アルバイトからの採用」で、ともに 48.1%となっている。

小規模事業者では、採用活動を行わず採用実績もないとする割合が、ともに4割台に達している。

今後の人材採用にあたっての雇用形態別にみたときの主眼をどこに置くかについては、「正社員」と「アルバイト(自社採用)」が上位を占めている。

景況キーワード

■ 業界を取り巻く環境の厳しさへの認識強まる

『ホール、メーカー共に業態変化の中で破綻企業が発生し、業界全体への信用供与が低下（資金・人材）することが懸念。』や、『5号機入替課題で全体に腰が引けている状態。廃業店舗が増加するのでは。』などの意見にあるように、業界を取り巻く環境の厳しさへの危機意識が持たれている。

■ 業態転換も視野に入れ、大衆娯楽の原点回帰を模索

厳しい状況を認識しつつも、『パチンコの遊パチ普及とともに、貸玉料の見直しによるお客様の負担軽減も視野に入れて活動する。』や、『現状の客単価のままでは、業界は縮小の一途となる。本来の大衆娯楽としての店舗運営に回帰できるよう努力する。』といった大衆娯楽への回帰や、『苦しいが業界が変わるビックチャンスと考えたい。』など従来の延長戦ではない施策の取り入れも検討されている。

<主要指標 パチンコ業界全体>

項目	D.I. 値			業界天気		コメント
	前回現状	現状	見通し	現状	見通し	
1. 全般的業況	-30.8	-6.2	-16.9			全般的業況は雷雨から曇りに改善。見通しは雨模様。
2. 稼働状況（パチンコ）	-30.8	15.4	10.8			現況雷雨から一転、薄曇りに改善。先行き見通も薄曇り維持。
3. 稼働状況（パチスロ）	-30.8	-23.4	-43.8			現況は雷雨から雨に。先行き見通しは雷雨で、数値悪化。
4. 資本投入気運の変化（台）	2.7	7.5	30.2			現況は曇りを維持。見通しは晴れに。
5. 資本投入気運の変化（設備）	5.4	-7.5	1.9			現況は一服状態。見通しも小康状態を保つ
6. 営業用設備の不足感	7.7	-3.1	1.5			設備不足感横ばい。見通しも小康状態を保つ。
7. 雇用人員の不足感	48.7	35.4	29.2			人材不足感は引き続き持続。見通しはやや数値改善。

注：前回現状は 2006 年 12 月調査時の結果

天気記号使用基準

記号	数値	記号	数値
	30.0～		-29.9～-10.0
	10.0～29.9		～-30.0
	-9.9～9.9		

全般的概要－業況

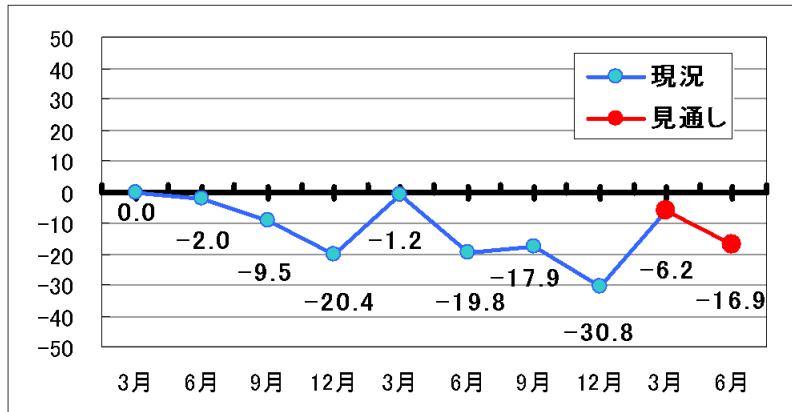
■ 業況判断DI 値はマイナス 6.2 へと回復も、先行きに不安

現況(平成 19 年3月の業況判断)は「良い」が 1.0 ポイント増加して 13.8%となり、「悪い」が 23.6 ポイント減少して 20.0%となり、DI指数はマイナス 6.2 と前回のマイナス 30.8 から、24.6 ポイントの大幅改善となった。

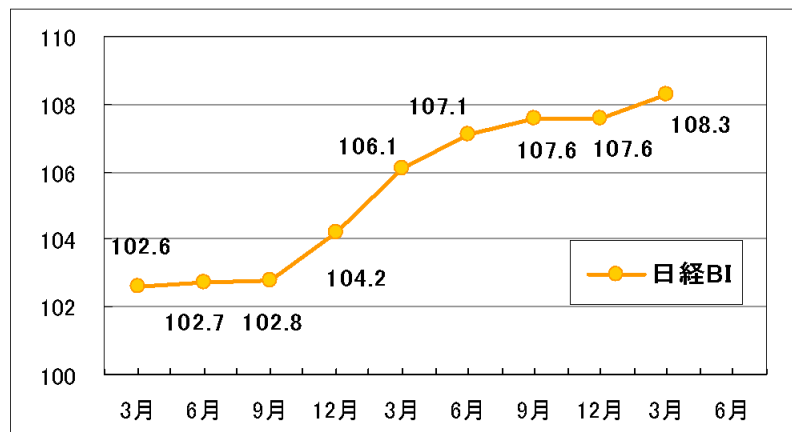
見通し(3ヶ月後)については、マイナス 16.9 と先行きへの不安を尚残している。

代表的な民間の景気動向指数である「日経BI」1月速報値は 108.3(2000 年平均=100)と前月から 0.2 ポイント低下した。前月比マイナスとなるのは4ヶ月ぶり。1月は日経BIを構成する指標のうち、鉱工業生産、有効求人倍率と所定外労働時間の3つが悪化した。サラリーマンの所得変動に影響する所定外労働時間は、前月比マイナス 0.5%と2ヶ月連続で減少した。

<現況の推移と見通し>



<日経景気インデックスデータ (日系BI)>



※インデックスデータは、1-3月の平均を3月に示した。直近の6月は1月速報値。

日経景気インデックス (日経BI)

景気動向を反映する生産、需要、所得、労働の4つの側面を代表する指標（鉱工業生産、商業販売額、所定外労働時間、有効求人倍率）から共通する「景気の波」を抽出したもの。「景気」そのものの変化方向と水準を表す。構成要素の4指標はすべて翌月末までに公表されるため速報性に優れている。
BIはビジネス・インデックス (Business Index) の略。(2000年平均=100)

全般的概況－判断理由と経営上の課題

■ 『来店客の減少』が拡大

業況判断を「悪い」と下した理由は、『来店客数の減少』が1位、『店舗数の増加』が2位で続いている。

現況の業況判断を「良い」(13.8%)と下した理由のうち最も多かったものは『来店客数の増加』となっている。

<「良い」、「悪い」との判断理由>

現況を「悪い」と判断した理由は『来店客数の減少』(71.4%)、『店舗数の増加』(21.4%)となっている。『来店客数の減少』は、前回12月期の65.2%より6.2ポイント上昇している。

■ 『人件費の増加』『時間帯・曜日などの偏り』が上昇

経営上の問題点の上位項目で、前回より回答率が上昇したのは『人件費の増加』(22.2%:11.9ポイント上昇)、『時間帯・曜日などの偏り』(14.8%:13.1ポイント上昇)、などとなっている。

事業者の規模別にみると、小規模事業者では、『設備・運営費の増加』(47.1%)で10.2ポイント上昇している。大規模事業者では『人件費の増加』(38.5%)が25.1ポイント上昇している。

『時間帯・曜日などの偏り』は、小規模事業者(17.6%)で12.4ポイントの、中規模事業者(16.7%)で16.7ポイントの上昇となっている。

<経営上の課題>

項目	全体 (9月)	全体 (12月)	全体 (3月)	小規模 事業者	中規模 事業者	大規模 事業者
他の同業他社との競争激化	76.2%	69.0%	59.3%	70.6%	54.2%	53.8%
人材教育・育成	55.6%	58.6%	53.7%	35.3%	66.7%	53.8%
設備・運営費の増加	34.9%	44.8%	40.7%	47.1%	33.3%	46.2%
人材不足・人材確保	49.2%	36.2%	33.3%	23.5%	41.7%	30.8%
人件費の増加	15.9%	10.3%	22.2%	17.6%	16.7%	38.5%
資金調達	11.1%	17.2%	22.2%	35.3%	16.7%	15.4%
不明瞭な行政指導	20.6%	19.0%	20.4%	17.6%	20.8%	23.1%
公的な規制	17.5%	24.1%	14.8%	11.8%	20.8%	7.7%
時間帯・曜日などの客の偏り	12.7%	1.7%	14.8%	17.6%	16.7%	7.7%
組合の自主規制	1.6%	1.7%	5.6%	0.0%	4.2%	15.4%
料金改定が困難	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

全般的概要－稼動状況

■ パチンコ現況は大幅改善、改善幅高い大中規模事業者

現況の稼動状況は 15.4 と、前回のマイナス 30.8 から 46.2 ポイントの大幅改善となった。例年 3 月期は上昇するが、今期の回復幅は大きい。

見通し(3ヵ月後)は 10.8 となっており、先行きへの不透明感を残している。

現況の稼働状況を規模別にみると、小規模事業者(1~3店保有)がマイナス 5.9、中規模事業者(4~10 店舗)が 12.5、大規模事業者(11 店舗以上保有)が 33.3 となっている。

前 12 月期と比べると、小規模事業者は 20.8 ポイントの上昇、中規模事業者は 59.2 ポイント、大規模事業者は 44.4 ポイントの大幅上昇となっている。

先行き見通しについては、各規模事業者ともに、ほぼ横ばいとなっている。

■ パチスロ現況はやや回復も、見通しには厳しさ

現況の稼動状況は、マイナス 23.4 と、前回のマイナス 30.8 からは 7.4 ポイント上げたもののマイナス2桁圏での推移となっている。

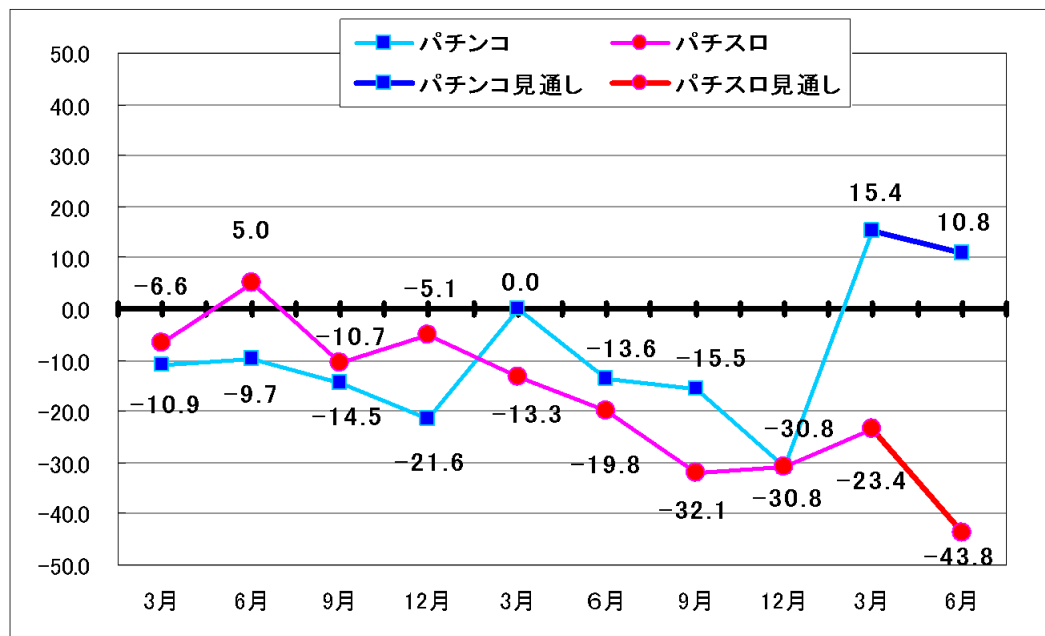
見通し(3ヶ月後)は、マイナス 43.8 と厳しさを残している。

現況の稼働状況を規模別にみると、小規模事業者(1~3店保有)がマイナス 25.0、中規模事業者(4~10 店舗)がマイナス 33.3、大規模事業者(11 店舗以上保有)がマイナス 12.5 となっている。

前 12 月期と比べると、小規模事業者は 11.7 ポイントの悪化、中規模事業者は 20.0 ポイントの改善、大規模事業者は 9.7 ポイントの改善と、小規模事業者での悪化が目立っている。

先行き見通しについては、各規模事業者ともに悪化を予測。大、中規模事業者では改善するとの回答がゼロと、先行きへの厳しさを残している。

<稼動状況の推移と見通し(パチンコとパチスロ)>



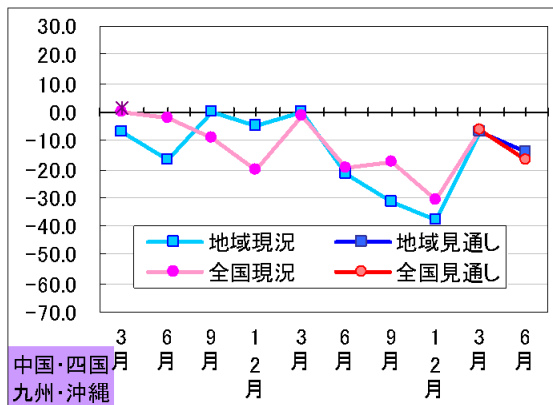
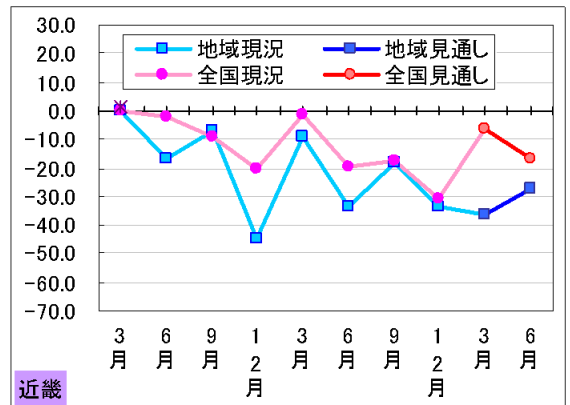
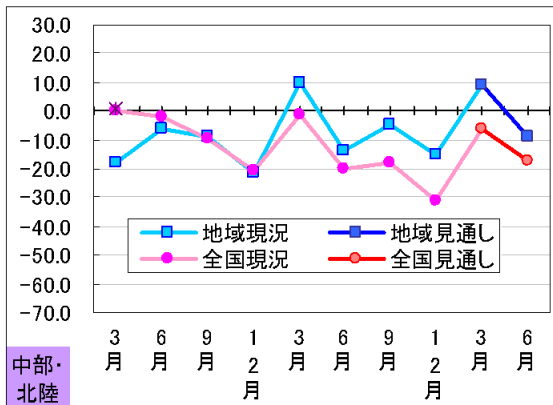
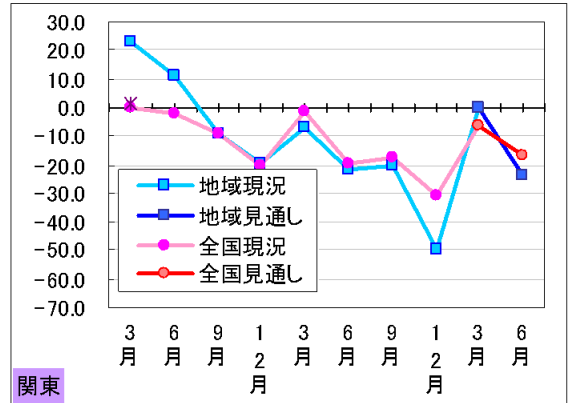
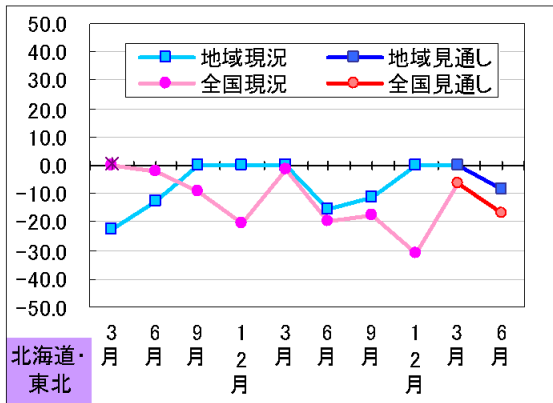
地域別の業況

■ 現況、見通しともに数値悪い近畿

現況のDI値は、「近畿」のみ前回よりも数値を悪化させマイナス 36.4 と最も悪い。最も数値がよいのは、9.1 と唯一プラス数値の「中部・北陸」。

見通し(3ヶ月後)については、「近畿」を除いて数値を下げ全てマイナス数値となっている。「近畿」は、現況より数値は上昇するもマイナス 27.3 と最も悪い。

<地域別 業況>



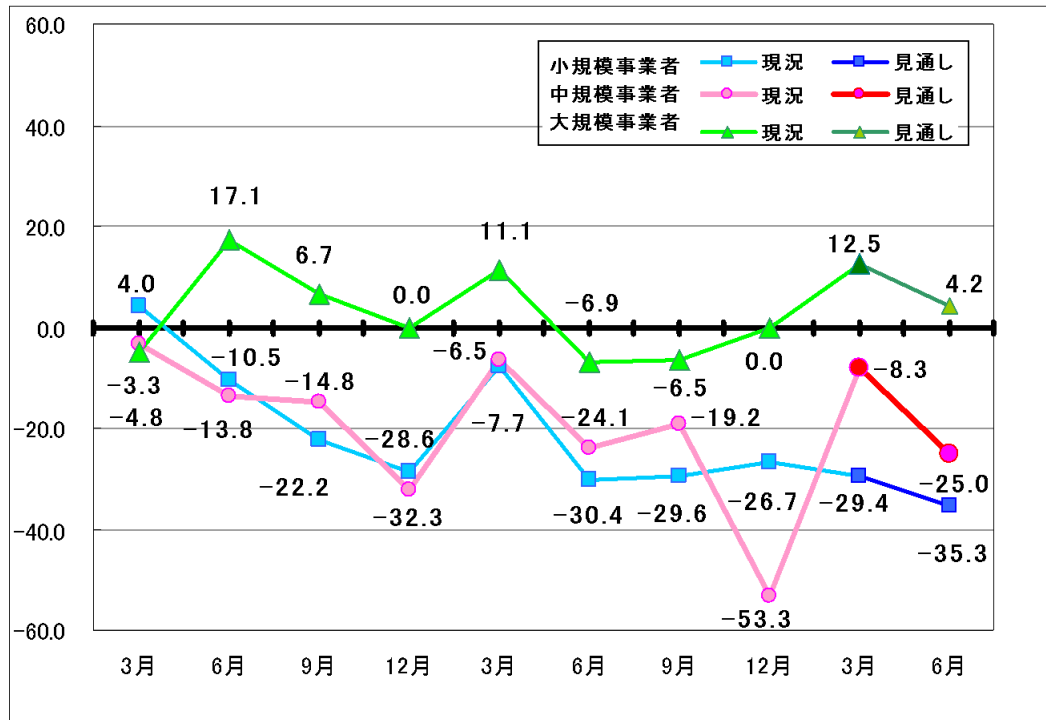
規模別業況

■ 中規模事業者で現況改善、見通しは中小規模でマイナス 2 桁

現況の業況判断を規模別にみると、大規模事業者でDI値 12.5 と前回から 12.5 ポイントの改善。中規模事業者でDI値 マイナス 8.3 と前回から 45.0 ポイントの改善。小規模事業者はDI値 マイナス 29.4 と前回から 2.7 ポイントの悪化となっている。

見通し(3ヶ月後)では、大規模事業者(4.2)、中規模事業者(マイナス 25.0)、小規模事業者(マイナス 35.3)と、各規模事業者ともに現況より悪い数値となっている。

<規模別：業況の推移と見通し>



注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

H19年度人材採用と今後の雇用形態

■ 採用実績高い『新卒』と『アルバイトからの採用』

平成19年度の正社員採用にあたって、採用活用をした対象は「新卒採用」(51.9%)、「アルバイトからの採用」(44.4%)、「中途採用(業界非経験者)」(38.9%)の順となっている。

そのうち、実際の採用に結びついたのは「新卒採用」と「アルバイトからの採用」で、ともに48.1%となっている。

小規模事業者では、採用活動を行わず採用実績もないとする割合が、ともに4割台に達している。

今後の人材採用にあたっての雇用形態別にみたときの主眼をどこに置くかについては、「正社員」と「アルバイト(自社採用)」が上位を占めている。

<採用実績のあった対象>

項目	全体	小規模事業者	中規模事業者	大規模事業者
新卒採用	51.9%	17.6%	58.3%	84.6%
中途採用(業界経験者)	33.3%	11.8%	54.2%	23.1%
中途採用(業界非経験者)	38.9%	17.6%	54.2%	38.5%
アルバイトからの採用	44.4%	29.4%	54.2%	46.2%
現状維持	16.7%	41.2%	4.2%	7.7%

注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

<採用実績のあった対象>

項目	全体	小規模事業者	中規模事業者	大規模事業者
新卒採用	48.1%	11.8%	54.2%	84.6%
中途採用(業界経験者)	33.3%	11.8%	54.2%	23.1%
中途採用(業界非経験者)	37.0%	11.8%	54.2%	38.5%
アルバイトからの採用	48.1%	35.3%	54.2%	53.8%
現状維持	18.5%	47.1%	8.3%	0.0%

注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

<今後の人材採用で主眼を置く雇用形態>

項目	全体	小規模事業者	中規模事業者	大規模事業者
正社員	57.4%	41.2%	62.5%	69.2%
契約社員	9.3%	5.9%	12.5%	7.7%
アルバイト(自社採用)	51.9%	41.2%	58.3%	53.8%
アルバイト(派遣スタッフ)	16.7%	11.8%	16.7%	23.1%
採用予定なし	1.9%	5.9%	0.0%	0.0%

注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

調査結果概要 DATA

■規模（店舗数）別

項目	DI 値区分	小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者		
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し
1. 全般的業況		-26.7	-29.4	-35.3	-53.3	-8.3	-25.0	0.0	12.5	4.2
2. 稼働状況（パチンコ）		-26.7	-5.9	-5.9	-46.7	12.5	4.2	-11.1	33.3	29.2
3. 稼働状況（パチスロ）		-13.3	-25.0	-37.5	-53.3	-33.3	-62.5	-22.2	-12.5	-29.2
4. 資本投入気運の変化（台）		-6.7	6.3	-6.3	7.1	0.0	41.7	12.5	23.1	23.1
5. 資本投入機運の変化（設備）		-20.0	-25.0	-12.5	21.4	-8.3	-4.2	25.0	15.4	30.8
6. 営業用設備の不足感		26.7	5.9	11.8	13.3	-8.3	0.0	-33.3	-4.2	-4.2
7. 雇用人員の不足感		20.0	41.2	41.2	86.7	58.3	45.8	33.3	8.3	4.2

注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上

■地域別

項目	DI 値区分	北海道・東北			関東			中部・北陸		
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し	前回	現状	見通し
1. 全般的業況		0.0	0.0	-8.3	-50.0	0.0	-23.5	-15.4	9.1	-9.1
2. 稼働状況（パチンコ）		0.0	25.0	25.0	-30.0	17.6	5.9	-23.1	9.1	0.0
3. 稼働状況（パチスロ）		0.0	-16.7	-50.0	-40.0	-17.6	-58.8	-7.7	-18.2	-27.3
4. 営業用設備の不足感		-50.0	-8.3	0.0	40.0	5.9	11.8	-7.7	-18.2	-18.2
5. 雇用人員の不足感		50.0	-8.3	0.0	70.0	41.2	29.4	46.2	72.7	45.5

項目	DI 値区分	近畿			中国・四国・九州・沖縄		
		前回	現状	見通し	前回	現状	見通し
1. 全般的業況		-33.3	-36.4	-27.3	-37.5	-7.1	-14.3
2. 稼働状況（パチンコ）		-50.0	-9.1	-9.1	-37.5	28.6	28.6
3. 稼働状況（パチスロ）		-50.0	-54.5	-45.5	-50.0	-15.4	-30.8
4. 営業用設備の不足感		16.7	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0
5. 雇用人員の不足感		50.0	54.5	45.5	25.0	21.4	-28.6

営業用設備の不足感、雇用人員の不足感が強いほどに設備投入機運の採用、活用に結びつくものであり、業況は改善に向かうものと判断される

■資金繰り等の現況推移

項目	対象時期	パチンコ業界全体			小規模事業者			中規模事業者			大規模事業者		
		9月調査	12月調査	3月調査	9月調査	12月調査	3月調査	9月調査	12月調査	3月調査	9月調査	12月調査	3月調査
資金繰り		-17.7	-8.8	-9.3	-17.9	-40.0	-17.6	-19.0	9.1	-25.0	-15.4	25.0	30.8
貸出態度		-15.0	2.9	-25.0	-30.8	-20.0	-56.3	-9.5	16.7	-21.7	7.7	25.0	7.7
借入金利		-27.9	-29.7	-26.9	-15.4	-33.3	-31.3	-22.7	-35.7	-17.4	-61.5	-12.5	-38.5

注：小規模事業者＝1～3店舗 中規模事業者＝4～10店舗 大規模事業者＝11店舗以上